

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等児童デイサービスまたね		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の満足度が高い	日々の子ども達の様子を、連絡帳及び送迎時に保護者に伝える事や、モニタリング時に情報共有を行うことでスタッフと保護者との信頼関係を深めていき、どの様な個別支援計画に行けばよいかのすり合わせをしています。	引き続き日々の子供たちの様子を確認し、本人がどのような事に興味・関心があり、やりたいこと・したいことと保護者の方からのご意見・要望が反映出来るようにしながら個別支援計画を作成出来るように行っていきます。
2	事業所の支援に満足している	プログラムが固定化されないように、新しい事を導入したり、以前にやったことのあるプログラムでも手を加えてまったく同じ内容にならない様に気を付けています。 子ども達の反応がよかったものに関しては、系統が同じものやさらに改良をしていくようにしています。	子ども達の反応の良かったものをスタッフ間での共有をし改良をしていきます。定期的に検討会議をして充実していけるよう、内容が偏らない様に工夫をしていきます。
3	子どもは通所を楽しみにしている	利用者の特性や興味を持つこと等の個人情報を把握し、楽しんでプログラムやスタッフとの会話やコミュニケーションを楽しんでもらえるようにしています。 個々のスタッフの技術や知識の向上のため年に一度以上の研修をしております。	スタッフ間の連携をとれるように気を付けることや、気になった事、反応が変わったことなどをスタッフ間で共有していきます。 個々のレベルを上げるため年に一度以上の所外研修を行っていきます。 所内研修も年三度実施しております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後移動クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会	学校や児童クラブ等での集団活動に参加できない子供たちも多くご利用いただいているため、地域の他の子どもとの活動が精神的な負担になることもあります。ただ単に交流する機会を設けるのではなく、ご利用している子ども達が負担を感じないよう、交流に目的や目標をしっかりと設定し、子ども達の特性に十分に配慮した交流の機会を提供する事が重要であると考えております。	安心・安全を前提にし、ガイドラインに沿って年二回行っています(雨天の場合中止あり) 交流会の様子などをほかの情報に埋もれずに保護者の皆様にしっかりと情報をお伝えすることが出来るように取り組んでいきます。 もっと多くしたいと保護者からのご意見ありましたら検討していきます。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をしている事を保護者への周知	各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施しております。 避難訓練・火災訓練等の訓練をデイの予定として記載しておりますが保護者の皆様にとりわかっていない現状があります。	デイの予定での発信だけでなく、訓練を行った際にはお手紙でのご案内や連絡帳への記入をし、ほかの情報に埋もれずに保護者の皆様にとりわかっていただけるよう取り組んでまいります。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援	保護者会の開催をしております、今年度は10名の保護者の方に来ていただき、交流をしておりますが、内容も見学・学習会など工夫していきたいと思っております。 きょうだい向けのイベントは出来ておらず、今後検討したいと思っております。	保護者同士の交流が増えるように、施設見学や勉強会等の保護者に参加してみたいと思える内容作りや、複数回の開催、保護者会にもきょうだいの参加が出来るように検討していきます。